

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月18日

協議会名: 釧路市地域公共交通活性化協議会・釧路市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
阿寒バス(株)	【系統名】 イオン高専線 【運行区間】 イオン昭和店～星が浦大通3丁目～高専前	バス待合室に設置しているデジタルサイネージや市ホームページ等による情報発信により、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標: 収支率50%/年 コロナ禍で利用者数が想定を下回ったこと等により、収支率は29.26%/年であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設等と連携した周知、PRを強化する。 ・町内会や老人クラブと連携した周知、PRを強化する。 ・まちづくりや利用実態と連動した運行内容とする ・アンケート結果などから、必要に応じ運行経路や運行時間の見直しを検討する。
	【系統名】 イオン鶴野線 【運行区間】 イオン昭和店～鳥取大通9丁目～ニュータウン入口	バス待合室に設置しているデジタルサイネージや市ホームページ等による情報発信により、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標: 収支率50%/年 収支率は61.85%/年であり、事業が計画に位置づけられた目標を達成した。	
	【系統名】 イオンリフレ線(鶴野経由) 【運行区間】 イオン昭和店～鶴野小学校～山花温泉リフレ	バス待合室に設置しているデジタルサイネージや市ホームページ等による情報発信により、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標: 収支率50%/年 コロナ禍で利用者数が想定を下回ったこと等により、収支率は28.04%/年であった。	
	【系統名】 イオンリフレ線(大楽毛経由) 【運行区間】 イオン昭和店～星が浦大通4丁目～山花温泉リフレ	バス待合室に設置しているデジタルサイネージや市ホームページ等による情報発信により、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標: 収支率50%/年 コロナ禍で利用者数が想定を下回ったこと等により、収支率は13.47%/年であった。	
くしろバス(株)	【系統名】 鳥取北・昭和地区循環バス 【運行区間】 イオン昭和店～スーパーアークス鳥取大通店～イオン昭和店	なし(新規)	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標: 収支率50%/年 コロナ禍で利用者数が想定を下回ったこと等により、収支率は17.12%/年であった。	
(有)阿寒観光ハイヤー	【系統名】 仁々志別線 【運行区間】 48線～仁々志別、共和地区～阿寒診療所	市ホームページ等による情報発信により、利用促進に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標: 運行経路や行き先に対する満足度16.1%以上 満足度は43.8%であり、事業が計画に位置づけられた目標を達成した。	

<p>まリモ交通(株)</p>	<p>【系統名】 桂恋三津浦線 【運行区間】 三津浦～桂恋、三津浦地区～市立病院</p>	<p>なし(新規)</p>	<p>A</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>C 目標:運行経路や行き先に対する満足度16.1%以上 満足度は12.5%であり、事業計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。</p>	
<p>釧路市(有)音別ハイヤー委託)</p>	<p>【系統名】 音別線(霧里・茶安別) 【運行区間】 茶安別～中音別、上音別、二俣、霧里、茶安別、川西地区～音別駅</p>	<p>市ホームページ等による情報発信により、利用促進に努めている。</p>	<p>A</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A 目標:運行経路や行き先に対する満足度16.1%以上 満足度は37.6%であり、事業が計画に位置づけられた目標を達成した。</p>	
	<p>【系統名】 音別線(尺別・直別) 【運行区間】 直別～尺別、海光～音別駅</p>	<p>市ホームページ等による情報発信により、利用促進に努めている。</p>	<p>A</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A 目標:運行経路や行き先に対する満足度16.1%以上 満足度は37.6%であり、事業が計画に位置づけられた目標を達成した。</p>	
<p>(有)阿寒観光ハイヤー</p>	<p>【系統名】 布伏内線 【運行区間】 阿寒診療所～布伏内地区～阿寒診療所</p>	<p>PR強化(阿寒地区にチラシ配布)を行った。 利用状況調査を行った。</p>	<p>A</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>C 【年間利用者数】 目標1,400人以上/年に対して、632人/年であった。</p>	<p>地区においては、人口減少による過疎化が進行するなかで、高齢者の多い地区(高齢化率70%)であることから、大幅な利用者数の増加が見込めない状況となっている。 また、昨年に引き続き新型コロナウイルスによる影響で買い物や通院を控えたことや、運行日数及び運行回数の見直しにより年間利用者も大幅に減少してしまった。 このような中でも、チラシを配布し住民周知や、利便性向上を目指すための利用状況調査を行い、引き続き、利用者増につながるよう様々な取組を積極的に進めていき、利用者回復及び増加に努めていく。</p>